



広島土砂災害 特集⑮

応急復旧に関する計画及び進捗状況の地元説明会

次から次に 被災者から「願い」「不安」の声

いつ、安心して家に戻れるの？

将来的に安心な地域に

砂防ダムはどこに、何カ所 整備するの？

●復旧にむけた素早い対応に感謝するが、大型土のうのう囊(1トン、1m)は、今後の土石流を防ぐ力はなく、流れてくる山水をためて正規の「みず道」に排水する手立てでしかないなら、砂防ダムを早期に整備してもらいたい。砂防ダムをいつ、どこに、いくつ建設するのか早期に知らせてほしい。



●自宅に帰ってもらうための条件を整えるための応急復旧工事だというのが、また災害が起こる危険な場所には帰れない。

緑井7丁目は、生活道路が一本しかなく、避難道もない。この際、危険な場所は公園にしたり、道路の拡幅など、将来的に安心して暮らせる「まちづくり」を検討してほしい。

●強い雨が降ったら、また避難しなければならない。大型土のうのう囊がどれぐらいの雨量まで耐えられるのか、情報がほしい。

●緑井7丁目は、昭和60年に治山ダムが4つ整備されたが、今回の災害は、この治山ダムとは別の場所で発生している。治山ダムは無関係だった。どこから崩れてきたのか、至急に調査をしてもらいたい。山の地肌が出たままでは怖い。

●復旧作業を早く進めるには、宅地内の土砂の量を把握しなければならないが、市の職員は現場に来ない。現場を見ずに、土砂や瓦礫の撤去が進むわけがない。



9月8日 緑井小学校での説明会に参加

安佐北区の地元説明会も決定しました

◆9月10日(水) 19時～ 可部福祉センター ◆9月11日(木) 14時～ 三入公民館

お昼の開催です↑